

## 今号の主な内容

### 【特集】国際交流事業・第12回ふれあい交流子ども使節団

- 「日韓交流の旅」韓国派遣団員募集！ ..... 1
- 第11回使節団プレイバック ..... 2
- 「国際交流の力」第11回使節団リーダー旅行記 ..... 3
- ゆふいん財団掲示板**
- 新しい体制でのスタートです ..... 4

[発行日] 2013年6月18日  
[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団  
[発行人] 溝口薫平  
[編集責任者] 霜野圭一  
[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会  
住所/湯布院町川上2863  
TEL/85-4748 FAX/85-4759  
E-mail : info@yufuin-zaidan.jp  
H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

## 【特集】国際交流事業



今年から3泊4日に拡大！  
新たに高校生枠が増えました！

## 第12回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団

### 「日韓交流の旅」韓国・水原派遣団員募集！ 応募締切：7月4日(木)



第11回使節団 韓国・水原市青少年育成財団との交流 記念写真

ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団とは、アジアの海外へ足を運び、現地学生との交流や異文化にふれあう事業です。訪問地は韓国・水原市。2月に湯布院を訪れた水原市青少年育成財団の子どもたちと、さらに交流を深めながら、貴重な体験をしていきます。

初めての海外、初めての飛行機、学年・国の違うお友達、初めて食べる韓国料理…。あなたの知りたいことは何ですか？自分に必要なものはなんだろう？いつもと違う環境の中で、新たな自分を発見しましょう！ご応募、お待ちしております！

## 【 応募方法 】

### 参加資格

- 湯布院地域内在住の心身ともに健康な子ども
- 中学生（1年生～3年生）
- 高校生（高校生の定員は最大3名です。）



### 応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入してください。応募用紙については、湯布院中学校から配布しております。高校生の方で応募用紙が必要な方は財団事務局までご連絡いただくか、ホームページからダウンロードをして下さい。

自己PRとして今一番自信を持っていること、もしくは国際交流に参加したい理由などを書いてください。また、文章を書くより絵を描く方が好きな人！好きな絵を別紙、画用紙等に描いてご応募ください。

後日、選考委員による面接が行われます。（面接選考により、12名を決定します）

## 【 参加費用 】

個人負担額：15,000円

- ※パスポート申請費用等は個人負担となります。ご了承ください。（収入印紙代として、11,000円がかかります）
- ※交通費・宿泊費・食事代など基本的な費用の約7割を財団が負担します。

### <問い合わせ先・申し込み先>

公益財団法人 人材育成ゆふいん財団

〒879-5102 由布市湯布院町川上2863

（クアージュゆふいん健康温泉館内）



TEL : 85-4748 FAX : 85-4759

（応募はFAXも可）

# 第11回使節団プレイバック ～新しい自分を知る・見つけるチャンス～



スウォン  
交流先の水原市青少年育成財団を表敬訪問



ミョンドン  
ソウル市内の明洞などで買い物体験



スウォン ハソン  
世界遺産の水原華城を訪問



歓迎会で自己紹介・まち紹介



スウォン  
水原市の子供たちと一緒に昼食交流会



ホームステイしたご家族と記念撮影

## ～ 第12回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団の今後の予定 ～

### <事前準備の予定>

- 7月4日(木) 応募締め切り
- 7月7日(日) 面接日(予備日: 5日、6日)
- 7月8日(月) 合否連絡
- 7月10日(水) 保護者説明会(予備日: 9日)
- 7月中～下旬 勉強会を4回開催予定



### 8月1日(木) 韓国・水原市の文化に触れ学ぶ日

・水原青少年育成財団・水原文化センターなど、様々な場所、施設を見学。

### 8月2日(金)～3日(土) 水原市での心の交流を体験する日

・世界遺産水原華城、韓国民俗村など水原市の各所を見学。水原市青少年育成財団との交流プログラム。

### 8月4日(日) 韓国・水原市を楽しみ、振り返る日

・地元の市場やスーパー、大都市ソウルの明洞、免税店などでの買い物体験。

## 相互交流の取組紹介「冬には韓国・水原市から、毎年お友達が湯布院に来ています!」

平成24年 来日  
2月24日～27日

相互交流のはじめの一歩として6名の中高生が大分県・湯布院を訪れました。



2回目の来日。ホームステイや各種視察、体験を湯布院の子ども達と一緒に行いました。

平成25年 来日  
2月22日～25日



ホームステイでは、毎晩楽しい時間を過ごしました。温泉に行き、湯布院らしさを体験しました。すっかり家族の一員です。



一緒に食事をすると言葉の壁を越えて、会話がはずみます。仲良くしようとする気持ちで通じ合いました。



湯布院の子ども達が自分たちのまちを紹介するガイド役。紹介したいところへLet's Go!一緒に歩きながら仲良くなりました。



将来、料理人になることを目指している子ども達同士で料理対決。「納豆チャーハンVSキムチチャーハン」の美味しい日韓対決でした。

# 「国際交流の力」



第11回使節団リーダー旅行記

田島 里彩さん

(当時/湯布院中学校3年)



私たち子ども使節団は8月3日から5日までの2泊3日の旅に出ました。この「日韓交流の旅」は私たちにとって貴重な体験であり、韓国で交流するための「千載一遇のチャンス」でした。私はこの旅に参加できて、うれしい気持ちでいっぱいでした。

韓国では1日目に水原華城に行きました。そこは世界遺産というのに、私は一度も聞いたことがありませんでした。韓国ドラマで見たことがあるような建物がいっぱいあり、なかなか見ることができないような風景ばかりでした。

その日の夜は、私たちがホームステイさせてもらえる家庭の方々と一緒にバイキング形式で食事をしました。この歓迎式で、私たちは来る前に練習してきた韓国語で、湯布院の町の紹介、湯布院中学校についての紹介をしました。私は完璧な発音ができませんでした。会場にいた皆さんは大きな拍手をしてくれたので、とてもうれしかったです。バイキングでは韓国料理らしきものがたくさんありました。せっかく韓国に来たのだから「どんなに辛くても食べてみよう」と思っていました。しかし、やっぱりこわいので、あまり手がでませんでした。今ではもっとたくさん食べれば良かったなと思っています。

辛いものだけでなく、日本で見たことがないような不思議な食べ物もたくさんありました。それをホストファミリーにすすめられたので一つ食べてみましたが、すごくおいしかったので感動しました。また取りに行ったらなくなっていたので残念でした。そんな楽しい時間もあっという間に終わり、ホテルで明日に向けてぐっすり寝ました。



2日目は最初に韓国民俗村に行きました。ここでは民族村と娯楽村に行きました。農楽公演、綱渡り公演、馬上武芸公演、伝統婚礼などです。私が一番すごいと思ったのは綱渡りです。綱渡りは自分の身長以上の高さで一本の綱を渡ります。私はそれを見て「こんな伝統があるなんてすごいな。」と思いました。

たくさんの公演を見た後はお昼ごはんを食べに行きました。何がでくるだろうと思っていたら、とても熱そうな物ができました。中をのぞきこむとたくさんの野菜やとうがらしが入っていました。私は「やった！ビビンパだ。」と思いました。でも食べてみると予想以上に辛くてびっくりしました。やっぱり韓国料理は辛くてもすごくおいしいです。今度こそ完食しようと思いましたが、半分食べ

たぐらいで時間になったので残してしまいました。

ごはんを食べた後はすぐとなりにある娯楽村に行きました。娯楽村は遊園地だと私たちは知らなかったのですが、聞いた時にすごく喜びました。まさか遊園地に行けるとは思ってなかったので、すごくうれしかったです。私たちは最初に幽霊屋敷に入りました。外から見てすごく怖そうだったので「やめようかな」と思いましたが、せっかくなので入りました。でも予想以上に怖くて私は途中で外に逃げだしてしまいました。いろいろな人に見られて恥ずかしかったのですが、遊園地での良い思い出です。

韓国民俗村の後はホームステイの家庭の方々と一緒に韓国の伝統のある食べ物をつくって食べながら交流会をしました。この交流会でお菓子を作ってみて、とても難しかったのですが、交流の楽しさをすごく感じました。言葉が伝わらなくてもすごく楽しかったです。

交流会の後はホームステイの家庭に行きました。韓国ではほとんどの人がマンションに住んでいるみたいでびっくりしました。その家庭では日本語と英語と韓国語のごちゃ混ぜで話をしました。ホームステイと一緒にテレビを見たりして楽しかったです。

3日目はソウルのミョンドンで買い物をしました。私は欲しかった物が買えてよかったです。ソウルは人が多くて迷子になりそうでした。本当に韓国は日本とは違う良い所がいっぱいあったと、この旅で分かりました。

となりの国だから「日本とほとんど同じかな」と思っていたのですが、この旅でたくさんの発見がありました。この旅がたくさんの人に支えられて実行されたことをすごくうれしく思います。私はゆふいん財団の方々、水原市青少年育成財団の方々、ホームステイを受け入れてくださった方々、引率をしてくださった方々など、みなさんに感謝しています。本当にありがとうございました。この経験をずっと大事にしていきたいと思っています。



役員改選に伴い、人材育成ゆふいん財団では新しい評議員、理事、監事が就任しました。新しい体制でのスタートです。どうぞよろしくお祈いします!!

### <理事>

溝口 薫平  
(理事長/重任)  
霜野 圭一  
(常務理事/重任)  
麻生 時寿 (重任)  
阿部 尚志  
(新任/元評議員)  
江藤 実子 (新任)  
河野 英子 (新任)  
河野 雄一  
(新任/元評議員)

古長 雅典 (新任)  
清水 嘉彦 (新任)  
高倉 忠雄 (重任)  
田中 明美 (重任)  
時松 辰夫 (重任)  
中塚 高江 (新任)

### <監事>

太田 正美 (重任)  
中谷 次郎 (重任)

### <評議員>

大島 喜久枝  
(評議員議長/新任  
/元理事)  
阿部 哲哉  
(新任/元理事)  
岩尾 豊文  
(新任/元理事)  
衛藤 弘海 (新任)  
金子 裕次  
(新任/元理事)  
田代 教二 (重任)  
利光 恵子  
(新任/元理事)

寄付金の税制優遇について、新たに個人県民・市民税（大分県民税/由布市民税）の寄付金税額の控除を受けられるようになりました!

#### <個人県民・市民税の寄附金税額控除額の算定>

$(\text{寄附金額}-2,000\text{円}) \times (4\% \cdot \text{県}) + 6\% \cdot \text{市町村} = \text{控除額}$

- ・対象となる寄附金額の上限：総所得金額等の30%
- ・県と市町村が条例で指定する寄附金の場合、最大で10%の適用を受けることができます（県：4%、市町村6%）。
- ・個人市町村民税の寄付金税額控除を受けるには、お住まいの市町村が寄付金を条例で定める必要があります（大分県と由布市では既に定められています）。寄付金の指定状況については、お住まいの市町村の税務主管課にお問い合わせください。

- ゆふいん財団は「公益財団法人」として、税法上では特定公益増進法人となります。税制上の優遇措置が適用され、所得税、法人税、その他相続税等、そして新たに個人県民市民税の控除が受けられます。
- 公益財団法人となり、皆様からの寄付金、木綿（ゆう）の会という賛助会費が税制優遇を受け、少しでも寄付者への感謝・社会貢献への還元を形として表せるようになっています。

#### <賛助会・木綿（ゆう）の会とは>

各団体が取り組んでいる事業や、次世代を担う子ども達を応援している人材育成ゆふいん財団を、財政的に支援するサポーター制度・応援団です。会員の皆様の貴重な会費が、若い世代を育む環境を作り、優秀な人材を輩出し、より豊かで安心して暮らせる安らぎのまちを生み出していきます。

#### [年会費]

一般会員（個人会員） □ 1,000円  
団体会員 □ 10,000円

#### [納入方法]

1. 銀行振り込みの方は下記のお振込先をご確認ください。

【一般・特別寄附金、賛助会費のお振込先】

大分みらい信用金庫 湯布院支店	普通	9126220
大分銀行 湯布院支店	普通	5030210
豊和銀行 湯布院支店	普通	1015344
大分県信用組合 湯布院支店	普通	0183520
大分県農協 湯布院支店	普通	0013064

口座名義：公益財団法人人材育成ゆふいん財団

理事長 溝口薫平

2. 財団事務局までご連絡をいただければ、お手続きいたします。

国際交流事業の募集が始まりました！今後、湯布院の代表、日本の代表を選んでいきたいと思ひます。「日本人は生まれつき、当たり前のように協調性、チームワークの意識を持っている。あとは『個』の力で勝負。」そんなお話を耳にしました。私もぜひ『個』の力を高めていきたいと思ひます。（事務局・大澤）